

EL

電装

## 目次

概要 .....	EL-2
ライティングシステム .....	EL-2
注意 .....	EL-2
外装ランプ .....	EL-2
キセノンヘッドランプ .....	EL-2
リヤコンビネーションランプ (右) .....	EL-5
リヤフォグランプスイッチ .....	EL-5

@gabednconfused

@gabednconfused

@gabednconfused

@gabednconfused

EL

## 概要

変更内容は下記の通り。(※印のみ本編に記載)

ヒューズ、ヒューズブルリンク、リレー

- キセノンヘッドランプ及びリヤフォグランプの採用に伴い、ヒューズ及びリレーの追加、取付位置を変更しました。(GT-R系のみ)

ライティングシステム

※ キセノンランプ及びリヤフォグランプ採用。(GT-R系のみ)

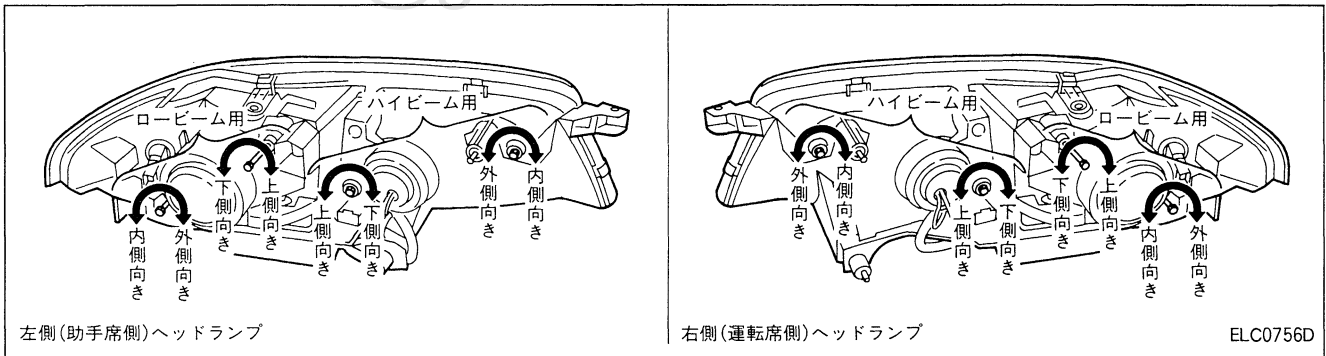
## 注意

- 濡れた手で作業しないこと。
- 高電圧発生部位があるため、キセノンヘッドランプを脱着する際は必ず、バッテリーケーブル（マイナス）又は電源ヒューズを外してから作業すること。
- キセノンバルブはバルブソケットの取り付けが不完全な場合、高電圧のリーク又はコロナ放電の発生により、バルブ、コネクタ、ハウジング等を溶損する可能性があるため、取り付けは確実にを行う。また、バルブはヘッドランプハウジング組込状態以外では点灯させないこと。
- 使用済みバルブは割らずに厚手のビニール袋などに入れ密閉した後、廃棄すること。
- バルブのガラス面は直接、手で触れたり油脂類を付着させないこと。また、消灯直後は高温のため、手を触れないこと。
- バルブをヘッドランプハウジングから外したままで長い間放置すると、塵などによりレンズ、リフレクターの性能低下（汚れ及びくもり等）の原因となるためバルブ交換は、新品のバルブを用意してから行うこと。
- エーミング調整スクリューは、締め込む方向で調整すること。(緩め方向に調整する場合は、一度緩めてから再度締め込む。)
- ランプ類の汚れ及びシール剤の除去に、有機溶剤（シンナー、ガソリン等）を使用しないこと。

## 外装ランプ

### キセノンヘッドランプ

#### エーミング調整

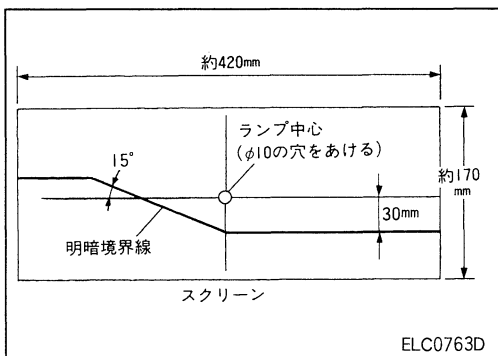


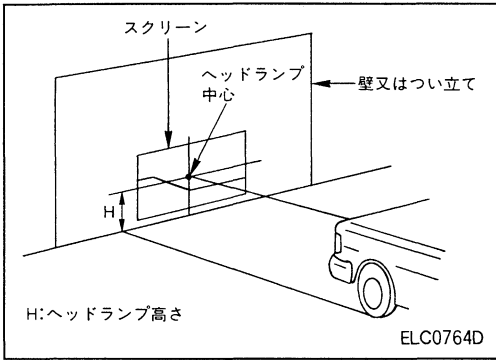
注意：ランプ点灯中はエーミング調整スクリュー以外のランプ各部（金属部分、コントロールユニット、ハーネス、バルブ、ソケット）に手を触れないこと。

調整用スクリーン（明暗境界線図）による調整

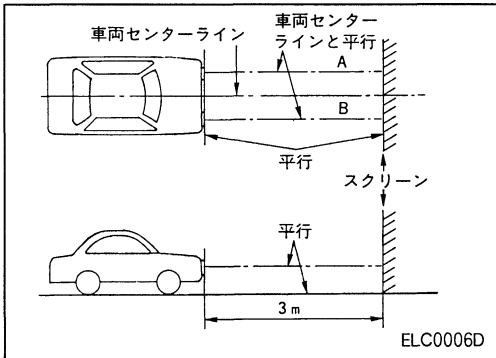
ロービーム側調整

- 厚手の白紙等を使用し、左図の調整用スクリーン（明暗境界線図）を作成する。

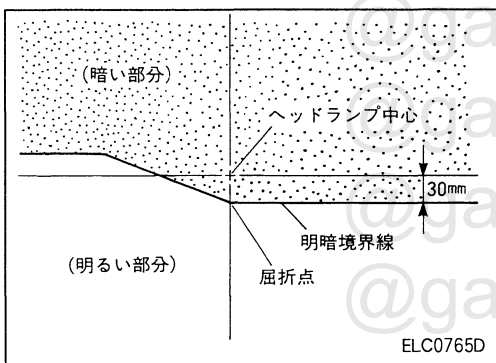




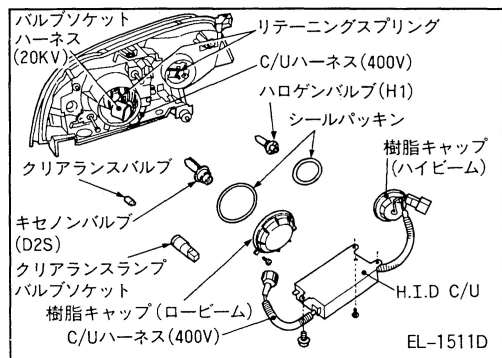
2. 車両を壁又はつい立て（平坦路面と直角）にできる限り直角に止める。
3. 壁又はつい立てに、ヘッドランプの中心位置と同じ位置の印を付ける。
4. 壁又はつい立てに付けた印に、作成した調整用スクリーンのランプ中心穴を合せ、平坦路面と平行に固定する。



5. 調整用スクリーンとヘッドランプの距離を3m離し、車両とスクリーンを正対（ $A=B$ ）させる。
6. 調整しないヘッドランプの光が、調整用スクリーンに当たらないように、つい立て等を使用し、遮断する。
7. ヘッドランプを点灯する。（ロービーム）



8. 調整用スクリーンに照射されたロービームの明暗境界線を、ヘッドランプのエーミング調整スクリューで、図に示す位置に調整する。



## バルブ交換

### 1. 整備要領変更内容の概要

キセノンバルブ交換はヘッドランプ本体を外して交換していましたが、ヘッドランプ脱着作業を省略し、車載状態でバルブ交換を行う整備作業に変更しました。(注)

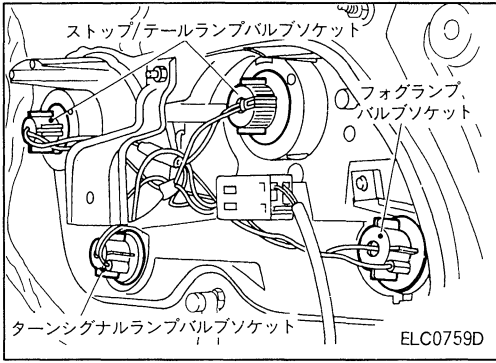
ただし、注意事項を守らないと感電、火災、火傷、視力障害等の事故につながりますので、作業にあたっては充分注意すること。

- 注：
- ・右側キセノンバルブ交換は、ウォッシャータンクを取り外して行うこと。
  - ・左側キセノンバルブ交換は、ヘッドランプ本体を取り外して行うこと。

## 交換作業要領

### 作業上の注意

- ・濡れた手で作業しないこと。
- ・高電圧発生部位があるため、キセノンヘッドランプ各部（バルブを含む）を脱着・触手する際は必ずバッテリーケーブル（マイナス）又は電源ヒューズを外してから作業すること。
- ・コネクタの脱着はライトスイッチ OFF の状態で行うこと。
- ・キセノンヘッドランプを点灯時及び点灯中は、ハーネス、H.I.Dコントロールユニット、ランプ内部、ランプ金属部分には手を触れないこと。
- ・点灯確認を行うときは、車両組み付け状態とし、電源は必ず車両側コネクタと接続すること。
- ・バルブのガラス面は直接手で触れたり油脂類を付着させないこと。また消灯直後は高温のため、手を触れないこと。
- ・バルブ交換の際は、バルブソケットを持ち、真後ろに引き抜くこと。ハーネスなどを持ち斜め後方に引くと、バルブがランプ内側に引っ掛かり抜けてランプ内に落ち、取り出し困難となる。
- ・キセノンバルブはバルブソケットの取り付けが不完全な場合、高電圧のリーク又はコロナ放電の発生によりバルブ、コネクタ、ハウジング等を溶損する可能性があるため取り付けは確実にすること。また、バルブはヘッドランプハウジング組込状態以外では点灯させないこと。ランプの外で点灯させると火災、視力障害の原因となる場合があります。
- ・使用済みバルブは割らずに厚手のビニール袋などに密閉した後、廃棄すること。
- ・バルブをヘッドランプハウジングから外したままで長い間放置すると、塵などによりレンズ、リフレクターの性能低下（汚れ及び曇り等）の原因となるためバルブ交換は、新品のバルブを用意してから行うこと。
- ・ヘッドランプ取付後は必ずエーミング調整を行うこと。（緩め方向に調整する場合は、一度緩めてから再度締め込む。）
- ・ランプ類の汚れ及びシール剤の除去に、有機溶剤（シンナー、ガソリン等）を使用しないこと。



## リヤコンビネーションランプ（右）

### バルブ交換

〔付帯作業〕

- トランクサイドフィニッシャー右
  - ストップ/テールランプ : 12V 21/5W
  - ターンシグナルランプ : 12V 21W
  - フォグランプ : 12V 21W

## リヤフォグランプスイッチ

SEC.251

リヤフォグランプSW

爪部

インストロアパネル

〔付帯作業〕インストロアパネル

	OFF	N	ON
4			○
2		○	○
3		○	○
6		○	
5		○	

○—○：導通あり

ELG0172D

@gabednconfused  
 @gabednconfused  
 @gabednconfused  
 @gabednconfused

MEMO

@gabednconfused  
@gabednconfused  
@gabednconfused  
@gabednconfused